

令和6年度 スポーツ観光戦略的誘客促進事業  
県内スポーツチーム連携プロモーション業務  
企画公募型コンペティション  
仕様書

令和6年4月



## 1. 業務の目的

本業務は、県内に拠点を置くスポーツチームと連携したプロモーションを県外で展開することにより、スポーツ観戦をフックとしたスポーツツーリズムの需要拡大及び行動喚起を促し、更なる来場者の拡大及び定着化を図る。

## 2. 委託業務の内容

本仕様書が規定する業務委託の内容は次のとおりとする。

- (1) 県内スポーツチームと連携したプロモーションの実施
- (2) 誘客促進に効果的なノベルティ・ツールの製作
- (3) 各種メディアを活用したプロモーション実施
- (4) プロモーション効果の検証
- (5) プロモーションスケジュール及び業務実施にかかる全体スケジュールの提示
- (6) 委託業務全体を統括する担当者1名以上の配置
- (7) 企画実施体制の提示
- (8) 業務完了報告書の作成
- (9) 精算関係書類の提出
- (10) その他

## 3. 企画提案内容

- (1) 県内スポーツチームと連携したプロモーションの実施
  - ①県外で効果的なプロモーションが行える公式戦や一般催事などを活用し、来場者に対して本県への誘客促進に繋がるプロモーションを実施すること。
  - ②県内に拠点を置くスポーツチームを活用すること
    - ※個人選手のみのは活用は対象外とし、必ずチームで行う競技とする。
    - ※提案する種目の誘客効果を示す根拠資料を提出すること。
    - 【例】各競技の市場規模など
  - ③プロモーション先については就航路線や来場者数などを加味した、本県への誘客に繋がる地域を選定すること。(海外含む)
  - ④現地プロモーションについては来場者に対しブースへの誘導や本県への誘客に繋がる創意工夫を行うこと。
    - 【例】本拠地の地域団体と共同出展を行い、本拠地周辺の飲食店や観光スポットなどを紹介
  - ⑤県外にて1回以上現地プロモーションを実施すること。
- (2) 誘客促進に効果的なノベルティ・ツールの製作
  - ①ノベルティを作成する際はスポーツアイランド沖縄ロゴが入ったデザインとすること。
  - ②出展実施数及び来場者数を考慮して、ノベルティやツールの製作部数を提案すること。
    - 【例1】県外でブース出展を行う際に、両チームのキャラクターとスポーツアイランド沖縄のロゴがコラボしたノベルティグッズを製作し、ブースへの誘導を図る。

【例2】ホーム試合日程一覧等に併せて本拠地周辺の飲食店や観光スポットの情報を掲載したパンフレットを製作し、試合観戦をフックとした沖縄旅行を訴求する。

(3) 各種メディアを活用したプロモーションの実施

ブース出展周知並びにスポーツ観戦をフックとした本県への誘客促進に繋がる提案をすること。

(4) プロモーション効果の検証

プロモーション実施による効果検証及び、今後の誘客促進に効果的な検証手法を提案すること。また、検証結果を分析し次年度の提案へつなげること。

【例】県外出展プロモーション時のブース来場者数やメディアプロモーションの結果（PV 数など）、本県への誘客数を集計するだけでなく、今後の誘客促進に効果的な検証を行う。また集計データについては、今後の展望を報告書へ記載する。

(5) プロモーションスケジュール及び業務実施にかかる全体スケジュールの提示

(6) 委託業務全体を統括する担当者 1 名以上の配置

(7) 企画実施体制の提示

- ①企業名、役職、担当者名、人数等の体制を記載すること。
- ②外部発注を行う際は、発注先が県内事業者か県外事業者かも明記すること。
- ③外部業者に発注する際は、適格性を図ったうえで受注を行うこと。

(8) 業務完了報告書の作成

業務実施内容の結果を詳細に分析し、今年度の課題や改善策・今後の展望について取り纏め、報告すること。

(9) 精算関係書類の提出

業務にかかった費用内訳と、その適正及び支払いを証明する証憑書類(見積書、納品書、請求書、領収書、支払い証明書、自社人件費の稼働一覧、勤務表など根拠資料)を提出すること。

(10) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

【例】本事業を受託した他事業者と必要に応じて協力体制をとる。

#### 4. 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は表 1 のとおりとする。

表 1 成果物等一覧

項目	提出内容
① PR ツール	本事業で製作したノベルティ及びツールを提出すること。 (各 3 点) ・パンフレット ・チラシ ・ノベルティ 等
② 業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書を提出すること。 ・報告書 1 部 ※DVD データにおいても 1 部提出。
③ その他 (DVD データにて提出)	業務実施にあたって製作した全ての成果物をデータにて提出すること。 ※報告書は PDF データにて納品。 ※当該成果物の中間生成物含む。 ※図版素材は、イラストレータデータ及び pdf データ（確認閲覧用）を納品。 ※上記の DVD は、PC で再生可能なものとする。

#### 5. スケジュール

受託事業者は下記のスケジュールで業務を実施すること。

受託事業の実施終了日及び成果物・証憑類・業務完了報告書の提出期限

令和 7 年 2 月 17 日（月）まで

※事業者は提出期限までに、OCVB と調整を行い期日までに各書類の完成版を提出すること。

※成果物・証憑類・業務完了報告書の提出は、事業委託内容に含まれるものとする。

#### 6. 委託費

委託費は 1 件あたり 1,300 千円（消費税及び地方消費税含む）以内とする。

#### 7. 著作権・特許等

(1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、全ての著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む財産権）を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前の承諾を得るものとする。

(2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。

(3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用若しくは沖縄県又

は OCVB が観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。

- (4) 本業務にて作成する印刷物等に使用する、OCVB が著作権を得ることができない図版及び写真については、二次使用が可能なこととする。(写真データについては電子納品をし、沖縄観光情報 Web サイト「おきなわ物語」への掲載及び OCVB が認める他の媒体での使用が可能であるもの)
- (5) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (6) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (7) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (8) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開が出来ないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

## 8. 注意事項

- (1) 提案企画の中で OCVB が行う業務がある場合は、企画書に明確に記載すること。
- (2) 提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (3) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容を全て実施することを保証するものではない。
- (4) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (5) 本業務にて作成する各媒体へ掲出する掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (6) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (7) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において予算や諸事情によって変更することがある。

以上